

- 生産年齢人口の減少を背景に、県内企業の人手不足は深刻さを増しており、即戦力として活躍が期待される特定技能外国人はもとより、開発途上国の「人づくり」に寄与する技能実習制度を労働力としても活用する実情がある
- 技能実習生は、特定技能に移行する段階で給与水準の高い首都圏等へ就職するケースが多く、さらに、育成就労制度で今後転籍要件が緩和されると、外国人材の流出が早期化するとの懸念もある
- 技能実習等の適正な実施と人手不足対策を両立するため、外国人材の受入に踏み切れない企業に対し制度理解の促進を図るとともに、県内企業が外国人材に「選ばれる企業」となるための支援が必要である

みやぎカンボジアジョブフォーラム2026 の開催

覚書に基づくビジネスマッチングイベントの開催

県内企業、送出機関、監理団体等とのマッチング支援を行い、県内企業における外国人材受入を促進するもの



交流会の様子(カンボジアジョブフォーラム)

外国人材向け日本語講座の実施

県内企業で活躍する外国人材向けに、必要な日本語を習得する講座を、講師派遣またはオンラインにより実施
外国人材が早期に企業に順応し、コミュニケーションを促進できるよう支援するもの

外国人材のキャリアアップ支援

業務上必要な資格等の取得など、外国人材のキャリアアップを応援する県内企業を補助
技能実習修了後も特定技能として企業で働き続ける意欲を醸成するもの

サンクスパーティの開催

外国人材に日ごろの感謝を伝え、受入企業を含む県内企業や外国人材同士の交流を図るパーティを開催
受入企業や宮城県への愛着を醸成し、仲間づくりも支援することで「居心地のよい」環境整備を図るもの